



旅行者の行動（ビヘイビア）に関する研究

研究の概要

旅行者（観光客）はなぜ旅行に行くのか、どのように目的地（デスティネーション）を決めるのか、どのように必要な情報を収集するのか、滞在先での行動や満足度に影響を与える要因は何かなど、主に旅行者の行動（ビヘイビア）に着目して研究を行っています。国内外の研究者との共同研究を積極的に実施し、現在は以下のようなテーマの研究プロジェクトに取り組んでいます。

- ・訪日外国人旅行者の自然災害に対する知識や行動に関する研究
- ・日本人海外旅行者（特に若年層旅行者）の渡航先での行動に関する研究
- ・日本でのDMO発展のあり方に関する研究 など

研究の特徴

訪日外国人観光客の増加に伴い、国内の多くの地域では多言語対応など外国人観光客への対応という課題に直面しているのではないのでしょうか。ヨーロッパやオーストラリアなど世界各地でも、外国人観光客の増加に伴い多言語や多文化への対応など様々な課題に直面している事例が多く報告されています。国内外の事例や研究を参考に、地域が直面している課題の解決に向けて取り組んでいきたいと考えています。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

- ・案内標識の英語化
- ・訪日外国人観光客を対象とした和食メニューの英語化
- ・道の駅での利用実態調査

研究者からのメッセージ

地域の抱える課題の解決に向けて、一緒に取り組んでいきたいと考えています。

研究分野 : 観光行動論, 観光マーケティング

研究者の所属部局・職位・氏名 : 和歌山大学観光学部 観光学科・准教授・永井隼人

本件に関するお問い合わせ : liaison@ml.wakayama-u.ac.jp